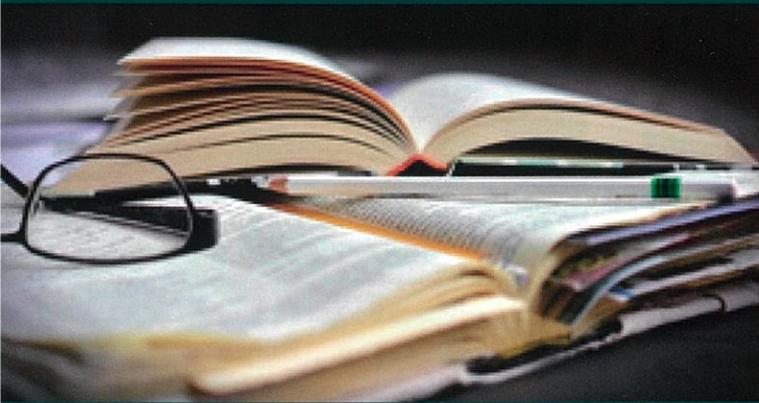


麗澤大学

学校教育研究科 道德教育専攻



学校教育研究科の目指す人間像

(1) 道德教育及び道德科のよりよい在り方を探究する人材

新たな時代に求められる子供の「生きる力」の育成には、子供の道德性が礎になるとの認識に基づき、道德に関わる理論と実践の往還を成し得る高度な指導力を身につけた教員の養成と学校や教員に新たな知見を提供し得る専門的な学識を備えた研究者を育成する。

(2) 道德教育を通じて学校の教育力を高めることができる人材

道德教育は、道德科を要しながら、学校の教育活動全体を通じて行われることを一層理解し、教科教育や教科外の活動における道德的な指導の充実と発展を図り、学校全体としての教育力の向上に貢献する教員を養成する。

(3) 教員及び研究者の資質・能力として、自己の品性や道德性を磨き続ける人材

一人の教員として道德を子供とともに考え学び合う姿勢を持ち、人間の生き方について絶えず省察を加えて自己の人間性を磨き続ける教員を、また一人の研究者として研究倫理の理解と規則の遵守はもとより、公共性と有用性を持った研究に誠実に取り組む倫理観を高め続ける研究者をそれぞれ育成する。

理論と実践の往還・融合を目指したカリキュラム

基礎科目

A 道德教育の本質に関する科目専門科目

専門科目

B 道德教育法及び道德科教育法に関する科目

C 各教育段階における道德教育の在り方に関する科目

D 各教科における道德教育の指導に関する科目実習科目

実習科目

E 道德教育及び道德科の実習に関する科目特別研究

特別研究

F 修士論文の指導に関する科目(特別研究)

基礎科目

- ・学校教育概論
- ・道德教育原論A(心理)
- ・道德教育原論B(臨床)
- ・道德教育特殊研究A(日本の道德教育思想史)
- ・B(欧米の教育哲学)
- ・C(日本の倫理思想)
- ・D(東洋の倫理思想)
- ・E(海外の道德教育)
- ・F(日本の道德教科書)

専門科目

- ・道德科教育法特殊演習A(道德科の評価法)
- ・B(道德科の教材開発)
- ・道德教育法特殊演習A(学校・学級経営と道德)
- ・B(生活・生徒指導と道德)
- ・道德教育特論A(臨床心理と教育相談)
- ・B(情報モラルと生命倫理)
- ・道德教育演習A(小学校)
- ・B(中学校)
- ・道德教育特殊演習A~F(国語、社会、数学、理科、英語)

《実習科目》(2単位以上、必修2単位)

道德教育法及び道德科の実習に関する科目

- 道德教育実践演習Ⅰ(勤務校等での実習) 2単位
- 道德教育実践演習Ⅱ(勤務校等での実習) 2単位

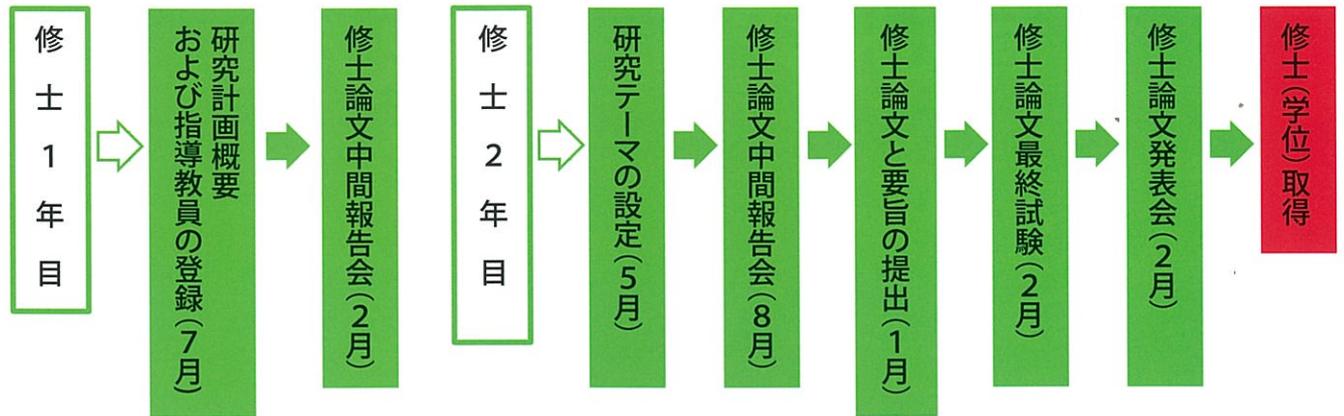
《特別研究》(6単位以上、必修6単位)

※修士論文を実践報告書に代えることができます。

その場合は、通常の終了単位数に4単位を加えて履修します。

- 道德教育特別研究Ⅰ 2単位
- 道德教育特別研究Ⅱ 2単位
- 道德教育特別研究Ⅲ 2単位

修士論文提出までの流れ ※指導教員によるきめ細かい指導を受けながら、修士論文を完成させます。



学校教育研究科就学における経済的負担の軽減について

① 長期履修制度

本研究科では現職の学校教員等、広く社会人学生の入学に対応しています。

- 大学院設置基準14条による教育方法の特例で、在職のまま就学しやすいように、土曜日開講、長期休暇中の集中講義で修了可能です。
- 修業年限2年を延長して履修する制度。その場合も学納金が2年分で済みます。

※詳細は教務・教育企画室・グローバル教育推進室(大学院担当)までお問い合わせください。

② 奨学金制度

日本学生支援機構奨学金(貸与)に申請ができます。

③ 教育訓練給付制度

厚生労働省の「教育訓練給付制度」の指定講座(一般教育訓練給付)への申請を予定しています。修了後に本人が教育訓練施設に支払った経費(受講料等)の一部をハローワークから支給(上限10万円)されることになります。(詳細はハローワークインターネットサービス教育訓練給付制度をご覧ください)

専任教員と担当科目の紹介

井出 元

主な担当科目: 「道徳教育特殊研究D(東洋の倫理思想)」・「道徳教育特別研究」

儒教・道教・仏教は、それぞれの役割を担って東アジアの精神的な風土を形成してきました。これらの伝統的な倫理思想は、東アジア諸国に影響を与え、我が国の精神文化の形成に寄与し、今日、日本人の公私にわたる活動の信条の中に脈々と生き続けています。よって現代において道徳教育の内容を考える場合、現代社会が抱える教育上の課題を確認し、新進の知見を取り入れる同時に、改めてその精神的な風土の考慮することが重要です。そこで「東洋の倫理思想」においては、思想の源流に遡り、改めて東洋の倫理思想の本質を問い、現代的な意義を探求することを主題とします。

江島 顕一

主な担当科目: 「道徳教育特殊研究F(日本の道徳教科書)」・「道徳教育特別研究」等

近現代日本の道徳教育の歴史的な研究を行なっています。道徳教育の「過去」を振り返り、道徳教育の「今」を確認し、そして道徳教育の「未来」を展望しましょう。道徳教育特殊研究F(日本の道徳教科書)では、教科書から日本の道徳教育を概観します。具体的には、戦前と戦後に分け、戦前では、検定教科書と5期にわたって刊行された国定修身教科書の構成内容を分析し、修身教育の特質と課題を考察します。戦後では、文部省の道徳用資料集や、民間の教科書会社から出版された副読本、文部科学省の『心のノート』『私たちの道徳』における代表的・古典的な「読み物資料」の内容分析を踏まえ、「特別の教科 道徳」の検定教科書を比較検討します。

川久保 剛

主な担当科目:「道德教育特殊研究A(日本の道德教育思想史)」・「道德教育特殊研究B(欧米の教育哲学)」等
「日本の道德教育思想史」では、近代から現代に至る道德教育の形成とその思想について考察します。具体的には、明治の德育論争から、戦後の道德教育に大きな影響を与えた和辻哲郎とその学統に連なる勝部真長、佐藤俊夫、尾田幸雄までをカバーします。「欧米の教育哲学」では、主に欧米の共和主義の道德哲学やシチズンシップ教育の古典をフォローします。現代の道德教育の成り立ちを哲学・思想の次元から解明していくのが、この二つの科目に共通する課題といえます。

鈴木 明雄

主な担当科目:「道德教育法特殊演習A(学級・学校経営と道德教育)」・「道德教育法特殊演習B(生活・生徒指導と道德教育)」等
新しい道德科の学習指導過程の在り方やチーム学校として児童生徒が主体的に考え、議論できる教科等横断的な学習を充実したカリキュラム・マネジメントの研究を実施していきます。特に道德教育法特殊演習A(学級・学校経営と道德教育)、同特殊演習B(生活・生徒指導と道德教育)等では道德生の育成を広い視点から考察し、新しい学校マネジメントや社会に開かれた教育課程の研究を基盤に、各自の課題意識に見合うオリジナル性のある修士論文を「道德教育特別研究」で目指します。

富岡 栄

主な担当科目:「道德科教育法特殊演習A(道德科の評価法)」・「道德教育特別研究」等
学校における道德教育を充実させていくための在り方について研究を深めていきます。具体的には、カリキュラム・マネジメントや生徒指導などの視点から考察を行います。また、これまでの道德の時間の指導過程を検討し、これからの道德科に相応しい指導過程の在り方や教材論について考究していきます。特に、「道德科教育法特殊演習A(道德科の評価法)」では、評価の歴史を振り返るとともに道德科の評価に関して量的、質的の両面からの分析を行います。修士論文の作成に関わる「道德教育特別研究」では各自が抱いた問題意識を究明していくことを目指します。

橋本 富太郎

主な担当科目:「道德教育特殊研究C(日本の倫理思想)」・「道德教育特別研究」等
「道德教育特殊研究C(日本の倫理思想)」では、日本の道德に根差す考え方や習慣を、その原初にまでさかのぼって歴史的に考察します。一口に日本の倫理・道德といってもさまざまな側面がありますが、そこには必ずから日本の風土に由来する特徴的な思想が存在し、外国からの影響を加えつつ、先人たちはそれを伝え高めてきました。こうした経緯を、具体的な事例を挙げるとともに受講生との議論を交わし、より明らかにしていくことを目指します。「道德研究特別研究」では、この知見を道德教育に生かす方向で修士論文の作成をサポートします。

中山 理

主な担当科目:「道德教育特殊研究E(海外の道德教育)」・「道德教育特別研究」
現代は、本来多元的であるべきモラルが縮小化されてしまったモラル・モニズムの時代と言われています。グローバルな視点から21世紀のモラルの再構築を目指すのが主なテーマです。このような観点から、「道德教育特別研究」、「道德教育特殊研究E(海外の道德教育)」では、①21世紀の道德教育にふさわしい教科書の在り方の研究、②比較文化・文明的視点から見た道德教育のグローバルな課題を学問的に捉え直し、ウェルビーイング、スピリチュアリティなどの現代的問題と道德教育と関係についての研究、③北米における道德教育の過去と現状について理解し、特に現代において活発に展開されている人格教育(character education)の内実を把握するとともに、日本の道德教育との比較研究などを行います。

宮下 和大

主な担当科目:「道德教育特殊研究D(東洋の倫理思想)」
近世日本の道德教育に大きな影響を与えた朱子学の研究をしています。中国宋代に淵源する朱子学は「誰もが聖人となりうる」というスローガンのもとに、万人に開かれた修養論を展開し、宋代以降の近世中国のみならず、日本も含めた東アジア広域に伝播し、各地で独自の受容と変容を経て近代へと接続していきました。東洋の倫理道德思想の流れを古代儒教から振り返りながら、それらが日本の道德教育に果たしてきた役割を考察するとともに、その教育的特質や現代的意義を検討していきます。

2019年度・2020年度修了者の紹介／メッセージ

①修了者の一覧

氏名	主な職歴	修士論文題目
久保田 博子	静岡県公立中学校教諭	真の国際人とは：E・S・モースに学ぶ
小池 文恵	群馬県公立中学校教諭 大学非常勤講師	科学の発達と道德教育
後藤 真生	公益財団法人研究助手	近代日本道德教育史から見る明治天皇の御修学に関する研究： 幕末維新期における広義の御進講を中心として
坂口 幸恵	東京都公立小学校校長 東京都江戸川区教育委員会 大学非常勤講師	児童生徒の道德性の発達を促す指導と評価の在り方について：認め、励ます個人内評価を通じて
城ヶ崎 滋雄	千葉県公立小学校教諭	戦後道德教育における「個人と共同体」：その歴史学的・倫理的考察
松原 好広	東京都公立小学校校長	「つながるいのち」の輝きのために：校長講話を通じた児童の道德性の育成
五十嵐 正広	千葉県公立小学校教頭 大学非常勤講師	生きて働く道德教育～防災教育に学び、防災教育を生かす～
石黒 真悠子	埼玉県公立小学校校長 大学非常勤講師	道德教育と音楽教育との関連を図った道德性の育成
北村 博	東京都公立小学校校長 東京都公立幼稚園園長	自己肯定感を育てる -『論語』と『老子』からみる「よりよく生きる喜び」の道德科授業等を通して-
小林 浩之	千葉県公立小学校主幹教諭	地域の先人を題材とした教材を活用し、道德性を育成する道德科指導のあり方 ～新しい佐倉学道德の再構築を目指して～
土屋 康子	東京都公立小学校校長 東京都公立幼稚園園長 学校法人教員保育士養成所専任 大学非常勤講師	感知融合の道德教育

②受験を考えている方々へ修了者からのメッセージ

久保田 博子	親身になって一緒に研究やテーマについて考えてくださる先生方ばかりです。先生方との出会いが財産になります！
小池 文恵	ここは宝の山です。先生方、同期生から道德教育について様々な視点を学び、気付きを得られます。 私は人物研究を通して、道德の大切さを示した多くの師に出逢う事ができました。
坂口 幸恵	道德教育の研究を志す人なら、年齢にかかわらず、ぜひ挑戦してください。自らの視野を広げ、研究の幅も膨んでいきます。 何よりも道德についての見識が深まります。
城ヶ崎 滋雄	道德に関する文献が揃った図書館、親切丁寧な職員、理論と実践の両輪として徳を持って指導して下さる先生。 道德を極める環境が揃った大学です。
松原 好広	2年間、大学院で道德教育を学び、それまで勤や経験で培ってきた考え方が180度変わりました。 麗澤大学院での貴重な経験は、何よりも私の宝物となりました。
五十嵐 正広	自己を見つめ、その思いを磨き公にすることは、大きな喜びであり、人生の宝となります。
石黒 真悠子	素晴らしい先生方と美しい環境の中で、研究を通して自分自身が大きく成長させていただいたという感謝の思いでいっぱいです。 よりよい在り方を探求する人生の、新たな一歩を踏み出すことができました。
北村 博	道德三昧の日々で道德を学ぶよるこび、道德を学ぶ幸せを麗澤で実感しました。 今後は自己肯定感をもちながら一研究者の資質・能力として、自己の品性や道德性を磨き続けて社会に道德学を還元したいです。
小林 浩之	教育現場の道德教育に脳科学・心理学、さらには諸外国で研究された最新の知見を加え、科学的に再構築し、 理論と実践を往還させ、進化させていくことができる教授陣と環境が備わった研究の場です。
土屋 康子	定年退職を「第二の人生のスタート」と捉え、これまでの学びを見つめ直し、深めるために、本大学院を選びました。 この選択は「大正解」だったと確信しています。新たな人生に彩りと輝きが増しました。

研究科に在籍している大学院生の紹介

※氏名等の掲載については本人承諾済みです。

氏名	主な職歴	研究テーマ
稲垣 彩	埼玉県公立小学校教諭	「人間の弱さ」をいかに「道德教育」に生かしていくか
河田 光輔	千葉県公立小学校教諭	道德科授業に生かす書く活動の研究
三浦 摩利	東京都公立中学校指導教諭	Service learningを充実させた道德教育～「特別の教科道德の教材開発のあり方」～
久保田 恵子	静岡市立小学校教諭、 静岡県特別支援学校教諭、 静岡市立中学校講師、 静岡県高等学校講師、 静岡市立小学校特別支援教育支援員	生き方の軸を伝え、育てる道德教育 —子供たちの幸せな人生を願う麗澤各校の実践と成果に学ぶ—
林 修也	文京区教育委員会指導主事	感知融合の道德教育
福島 博子	埼玉県公立中学校校長	いのちのつながりを実感し、豊かに生きる力を育む道德教育 ——「考え、議論する道德」を目指す教材の開発と活用——
古見 豪基	埼玉県公立小学校教諭	児童生徒の主体性の成長を育む道德教育の研究 ——道德科の授業開発とカリキュラム・マネジメントを通して——
堀内 翼	長野県公立中学校教諭	森信三の道德教育論——道德教育における教師論——
前川 直也	東京都港区教育委員会指導室指導主事 東京都公立小学校主幹教諭	浜田廣介の生涯と道德教材としての「泣いた赤おに」 ——「語り聴かせ」に込める想い——
森 美佐子	埼玉県公立中学校教諭	互いを尊重し、よりよい人間関係を育む道德教育の研究 ——対話を生かした道德科授業カリキュラム・マネジメントの視点を通して——

(2021年4月時点)

「麗澤道德教育学会」と学術誌『道德教育学研究』の紹介

麗澤道德教育学会は、麗澤大学大学院学校教育研究科を母体に2019年度に設立されました。大学院を母体とする道德教育の学会の創設は日本で最初となります。同学会は、大学院の研究成果の発信と体系的・組織的な道德教育学の確立を目的として設立されました。年間の活動として、年次大会の開催、学会誌『道德教育学研究』の刊行を行っています。また、「道德教育学」という学問名称をタイトルに掲げた学術誌も日本で最初です。

研究科の教員スタッフ、修了者、院生の多くが会員として参加し、研鑽と親睦を深めています。また、特別会員として、日本道德教育学会副会長で中央教育審議会専門委員でもある貝塚茂樹・武蔵野大学教授兼麗澤大学客員教授と、日本道德教育学会理事の田沼茂紀・國學院大学教授が就任しています。

創刊号(2020年10月1日刊行)

〔巻頭言〕

『道德教育学研究』の目指すもの……………川久保剛

〔創刊記念論文〕

つながるいちの豊かさのために……………岩佐信道

感知融合の道德教育についての一考察……………高橋史朗

〔研究論文〕

A Causal Relationship between Gratitude as a positive Feeling and Well-being

……Osamu Nakayama (中山理)

〔実践研究論文〕

希望と勇気を育む道德科の指導と評価について……………坂口幸恵

主体的・対話的で深い学びができる生徒の育成……………鈴木明雄

道德科における「畏敬の念」の指導のあり方に関する研究……………富岡 栄

「児童が主体的に考える」校長講話の実践……………松原好広

麗澤大学生涯教育プラザ(大学院棟)



くわしくは
「麗澤大学大学院」
で検索!

お問い合わせ

教務・教育企画室・グローバル教育推進室(大学院担当)

e-mail: daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp

麗澤大学大学院

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

<https://gs.reitaku-u.ac.jp>

小規模にこだわる。

国際性にこだわる。

 **麗澤大学**
Reitaku University